移行照合と切替後差分の記入表

案件・システム名：　　記入日：_____ 年 ____ 月 ____ 日

1 移行前後の照合

対象	比較日時・条件	変換規則	確認項目・単位	旧値	新値	差分	関連付け・例外の確認

旧値・新値は同じ日時・対象・単位・税込／税別で比較します。差分は新値−旧値。未確認の値はゼロとせず空欄にします。

差分がゼロでも、番号・得意先・商品・明細の結び付きと、除外・統合などの例外を確認します。

2 切替・切り戻し

切替前に判断者と期限を決め、戻す手順と再開後の確認まで記入します。

確認する項目	決めた内容・確認結果
確認対象	
入力停止	
最終差分・切替	
切替条件	
戻す条件	
判断者・連絡方法	
切替後入力・変更	
新側の更新停止	
回収方法	
戻し方	
判断期限	
復旧完了期限	
戻した後の確認	
通知・出荷	
戻せない場合	
結果・メモ	

表はNeoLogicの編集上の提案です。出典：IPA 第4章関連資料 4.1.1（2019年）／AWS Cutover stage「Rollback」（発行日・版番号表示なし）。確認日：2026年9月15日。
IPA：https://www.ipa.go.jp/archive/files/000072725.pdf
AWS：https://docs.aws.amazon.com/prescriptive-guidance/latest/best-practices-migration-cutover/cutover-stage.html

3 停止中の受付と再開前の確認

以下の時刻・数量は記事の想定例です。自社の停止・再開時刻は2の表へ記入してください。
10時30分から再開までに届く新しい注文は、受注担当が受付番号付きの控えに記録します。更新停止までの変更を戻した後、控えと旧側を照合して重複を避け、一度だけ登録します。未反映の控えがないことを確認して通常入力を再開します。11時の再開期限には、この照合・登録も含めます。

11箱・税別11,000円は、10時30分の更新停止までの変更を戻した照合値です。停止中に新しい注文を受けた場合は、その控えを反映した分も加えて最終の件数・数量・金額を確認します。

確認すること	担当・記録先・確認結果
受付番号付きの控えへ記録	
旧側と重複を照合し、一度だけ登録	
最終の件数・数量・金額、未反映がないことを確認	
期限内に再開できない場合の責任者判断	

期限までに控えの処理を終えられない場合は業務責任者へ連絡し、停止延長などを判断します。追加注文の件数や数量は、この想定例では設定していません。